

TTC 山行実施記録表(提案)

2012年5月7日 報告者:佐藤末治 (1/2)

山行名	北ア 八方尾根～唐松岳 [2696m 長野県]					
実施日	2012年5月5日(土)～6日(日)		1泊2日	マイカー利用		
天候/参加人員	天候:5/5 晴れ、 5/6 曇のち雨		レベル:★★★	参加5名		
パーティスタッフ	C/計画: SL: 会計: 救護: 写真: スタッフ名削除					
参加メンバー	参加者氏名削除			男4名、女1名		
費用	内訳: マイカー使用料(@10×580km)¥5,800、ドライバー謝礼(@5,000×2)¥10,000 燃料代(@146×580km/8)¥10,600、高速料金(往路2,050、帰路1,850)¥3,900 駐車料金(@1,000×2)¥2,000、ゴンドラ、リフト代(往復@2,600×5名)¥13,000 山荘宿泊代(@9,000×5)¥45,000、温泉入浴料(@500×5)¥2,500 支出合計¥92,800 集金(@18,800×5名)¥94,000 残金¥1,200(TTCカハ金)					
カハ金¥1,200-						
	歩行時間		休憩時間		行動時間	
	5/5	5/6	5/5	5/6	5/5	5/6
ガイドブック	4:10	2:10				
計画	4:30	3:10	1:25	0:20	5:55	3:30
実行	4:32	2:10	1:28	0:05	6:00	2:15
実行コースタイム記録						
◆5/5						
厚木(市内各所) == 相模湖 IC == 境川 PA == 梓川 SA == 豊科 IC == 八方ゴンドラ駅 ~ 兎平 ~ 3:00 4:15 6:15 7:40 8:20 29 21 15 1:10 昼食 15 1:22 ~ 黒菱平 ~ 八方池山荘 —— 八方山 —— 八方池 —— 下ノ樺 —— 2350地点 —— 丸山 —— 8:50 9:10 9:39 10:00-15 10:30-40 11:50 12:10 12:25-30 20 20 —— 唐松岳頂上山荘 —— 唐松岳 —— 唐松岳頂上山荘(泊) 13:52 14:20 14:40-50 15:10						
◆5/6						
唐松岳頂上山荘 —— 丸山 —— 八方池 —— 八方池山荘 ~ 黒菱平 ~ 兎平 ~ 八方ゴンドラ駅 == 6:40 7:20-25 8:20 8:55 9:00 9:05-45 10:06-20 入浴、昼食 == 八方ガーデンの湯 == 豊科 IC == 八ヶ岳 PA == 大月 JCT == 都留 IC == 秋山温泉 == 厚木市内 10:30 11:45 12:50 13:43-55 14:45 16:45						
概要・特記事項・反省事項等						
◆5/5						
計画通り3:00にスタート、市内を回って参加者を乗せ高速道に向かう。思いの外、高速も空いており順調にとばす。 途中、境川 PA、梓川 SA で休憩をとり八方を目指す。八方は GW でもあり春スキーの客であふれている。我々のようなザックを担いだ客はまばらである。8:00スタートのゴンドラを待って長い行列が出来ていた。 ゴンドラと2本のリフトを乗り継ぎ八方池山荘に着く。ここで日焼け止め対策その他の準備を済ませスタートする。 残雪は多少あるが、アイゼンはまだ不要である。風の強い八方池で休憩をとる。池はまだ雪に覆われ、一面の雪の原である。 下ノ樺からは急登になるため、手前でアイゼンを装着する。やわらかい雪の急登に苦戦する。上ノ樺で雷鳥に出会う。白と黒のまだら模様であるが、盛んに木の芽をついばむ姿がかわいらしい。 2350m地点のハイマツ帯で風を避けて昼食休憩をとる。丸山からの眺めは北に白馬鍾ヶ岳や杓子岳、正面に唐松岳、不帰ヶ岳、南には五竜の雄大な姿が眺望できる。 最後の詰めは強風に逆らいやせ尾根を慎重に通過し、岩山を乗り越えようとようやく眼下に山荘が見えてくる。 慣れない雪山で相当疲れたが、WEさんを残し男性4名で唐松岳山頂に向かう。山荘付近は風の通り道らしく、強						

風で飛ばされたザラメ状の雪が顔に当たり痛い。強風に逆らい、慎重に山頂を目指す。下から見上げて想像するよりも意外と容易に登攀できる。

山頂でさっそく五竜岳をバックに記念撮影。白馬方面の眺めも最高であるが、残念ながら劔岳、立山方面は雲が多くすっきりとしない。

山荘では偶然にも WE さんの昔の山仲間に関い、大いに盛り上がる。SK さんの1.5リットルの白ワイン、SK さんの焼酎、ST さんの日本酒で大宴会となる。

今日の宿泊客は以外に少なく20名ほどであった。

◆5/6

テレビの天気予報は午前中曇で昼過ぎから雨の予報であるが、朝5時の時点では強風が吹き荒れ、雷も鳴るあやしい天候である。しかし6時の朝食後は風も弱まり、小康状態となる。

天候が荒れる前に下山すべく早々にスタートする。思いの外、アイゼンも効いて歩きやすい。上ノ樺付近から雨模様となる。予報よりかなり早い。

休憩もそこそこかなりのハイペースで下る。八方池付近でリフト駅のスピーカーの音が聞こえてくる。どうも雷警報が出てリフトを停めるアナウンスのようだ。八方池山荘に着くと停止直前であったが何とか黒菱平までは乗せてもらった。

黒菱平で完全に足止めをくうが、幸い喫茶室もあり、荷物の整理の後コーヒータイムとなる。

40分ほどでリフトの運行が再開し、無事八方に下りることが出来た。

帰りは「白馬塩の道温泉ガーデンの湯」で汗を流し、食堂で昼食をとる。

帰路は雨の中を順調に飛ばす。予想に反して交通量も少なく、相模湖周辺は小仏を先頭に20kmの渋滞であったが、裏道に詳しいSKさんのドライブで渋滞を回避し、PM5時前に厚木に帰着する。

[本山行の共同装備]

無線機1台、ツェルト1張り、スコップ2本、旗ざお14本、ガスコンロ、コッヘル、補助ザイル25m1本、救護袋

[個人装備]

アイゼン(10本爪以上)、ピッケル、防寒帽子、防寒着、防寒手袋、スパッツ、サングラス、テルモス、1/25000 地形図、コンパス
以上

◆参考データ

過去同時季に同一コースで実施した山行(2004.5.01-02; 1泊2日/4人パーティ)のコースタイム:

- ・初日(八方池山荘-唐松岳頂上往復-唐松岳頂上山荘)・・・ 歩行時間3:48/休憩時間2:08/行動時間6:25
- ・2日目(唐松岳頂上山荘-八方池山荘)…………… 同上 2:40 / 同上1:05 / 同上 3:45